

クロダイ・チヌの渚釣り。

静岡県沼津の千本浜が熱い!

2012年3月上旬、千本浜にてクロダイが釣れだした。

この日は海側から吹く風が気になるものの、波つ気は比較的穏やかな状況。

潮は、昼から上げにかけり夕方に満潮を迎えるため、午後からのスタートとなった。この地を訪れた高橋さんは、少しでも風の影響が少ない海岸の左側を選定した。

まずは、ポイントを作ることから

釣り座についたら、まずエサの準備にとりかかった。この日、高橋さんが用意したエサは、濁りを目的とした「チヌパワーV10白チヌ」、まとまりを付けるために「チヌパワー日本海」、海底まで一気に沈む重さをつける「パワーダンゴチヌ」、集魚効果が高い「ニュー活さなぎミンチ」と同「激荒」。付けエサは、「活(いき)さなぎ」と「くわせオキアミスーパーハードチヌ(L)」。

マキエとなる配合エサは、粉の状態です。丁寧に混ぜ合わせてから、海水を少しずつ加え固めに仕上げる。仕上がり具合を確認した後、まずはポイント作りのためににぎり状にダンゴを握り、3個ほど投入。

付けエサは、「激荒」に配合されているカットコーンを拾い出し、「活さなぎ」をカットしておく。エサの準備ができたところで、仕掛けをセットし釣りを開始。

超大型がヒット!

先ほどダンゴを入れたところに仕掛けを投入。マキエは塊で沈み、海底に残るイメージでウキの周辺を目がけてマキエを打ち込む。

並んで竿を出していた釣り師達も、じきに付けエサが取られるようになり、フグが釣れたりエサ取りが集まってきた様子であった。

(1)「1」の1。

高橋さんは、さなぎ、コーンのローテーションで探っていた付けエサをオキアミに変えてみるとすぐにアタリがあり、本日一枚目となる40センチ級のクロダイをゲット。

潮が満ち込んで釣れまくる

夕刻近くなると潮が徐々に上げてくるので、釣り座がどんどんと後退しつつも、魚つ気が出てきた。

隣人も次々と竿を曲げ、本命のクロダイを釣り上げてゆく中、高橋さんの竿が再び弧を描く。釣り上げたクロダイは、やはり本日のレギュラーサイズの40センチ級であった。付けエサを聴いてみたところ、今回は「激荒」のカットコーン3粒掛けだったと。大きく見せることで、この魚は釣れてくれた。そんな感じに二匹目をゲットすることができた。

日没間際の午後5時に、寒さが限界だったこともあり納竿となったが、3名の実釣約4時間で4枚のクロダイを釣り上げることができた。

何もない海岸線。しかしながら、少し沖に行くと掛け上がりがあるようなこの千本浜は、どこでも釣れる。と...

自分でポイントを作り、回遊してくるクロダイを寄せ、足止めすることによって、釣果も伸びる。そんな気がするこの渚釣り。ぜひともチャレンジして欲しい。



渚釣りのイメージ動画は YouTube でチェック!

YouTube サイト内で「NAGISA★STYLE」で検索。約10分間の動画を公開中!ぜひ一度ご覧下さい。2012年3月上旬に静岡県沼津の千本浜にて撮影した映像です。3名が実釣、半日で40センチクラスのクロダイ・チヌが4枚釣れました。

YouTube **NAGISA★STYLE**

クロダイ・チヌの渚釣り

NAGISA★STYLE



- ▼寄せエサ
「チヌパワーV10白チヌ」1袋 「チヌパワー日本海」1/2袋
「パワーダンゴチヌ」1/2袋 「ニュー活さなぎミンチ」1袋
- ▼付けエサ
「くわせオキアミスーパーハードチヌ(L)」 「激荒コーン」
- ▼タックル
・ロッド: 1.2号5.4m
・リール: レバーブレーキ付きスピニングリール3000番
・ライン: 2号
・ウキ止め
・半円シモリ
・ウキ: ウキ工房「スナイパー-M(2B)」
・潮受け
・サルカン: 極小
・ハリス: 1.7号1ヒロちょっと
・ガンダマ: ハリスにG2を2つ
・ハリ: グレバリ7号